

# クッキングスタジオ及び創作兼準備室備品購入基本方針書

## 1 目的

この基本方針書は、滝沢市交流拠点複合施設の施設整備にあたり、備品購入をするにあたり、「空間との調和（デザイン性）」「施設を利用する人にとって快適で使いやすい備品」「提案備品（空間）がもたらす市民サービスの内容」「低価格かつ品質の確保」を実現できる最適な備品の購入を目的とする。

## 2 滝沢市交流拠点複合施設の基本理念

滝沢市交流拠点複合施設管理運営計画《基本方針編》より一部抜粋（主に P4）

# 基本理念

『生きがい、発見、創造』

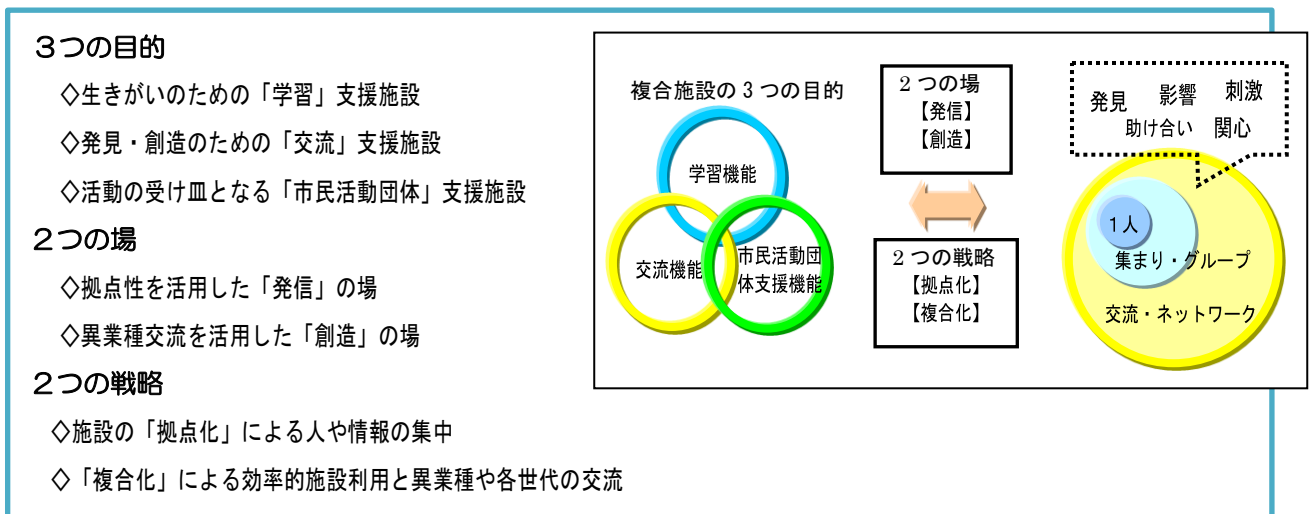
～さまざまな活動が複合化されることで、一つの拠点となり、交流を生み出す～



みんなで作る **ふれあいの大屋根**

コンセプトである「みんなで作るふれあいの大屋根」は、大屋根のもと、市民が集い、そして、みんながふれあう施設として位置付けられたものであり、今回提案を募集するクッキングスタジオ、創作兼準備室についてもその一端を担っているものです。

## 交流拠点複合施設の3つの目的、2つの場、2つの戦略



また、どういった施設が使いやすいか、良い施設なのかについて、説明会などで出された意見を含め、作業部会や検討委員会などでワークショップや議論を重ね、生み出された9つのコンセプトは、次のとおりです。

### ワークショップなどから導かれた9つのコンセプト

- 1 制約が少なく集まりやすい施設
- 2 意欲や関心を引き出す施設
- 3 多目的で自分たちにあった使い方ができる
- 4 安全と安心が守られている施設
- 5 活動を促す市民活動支援センター
- 6 価値が創造される施設
- 7 利用実態を踏まえたホールの考え方
- 8 防災、省エネ、新エネ、省コスト
- 9 周辺施設との連携

### 3 クッキングスタジオの施設概要、コンセプト

従来から公共施設にあるものは、調理実習室として整備されてきました。本施設においては、これまでの調理実習室の「学ぶ」という場から、さらに「活動・交流」する場を提供していく施設です。

そのため、従来ではキッチンを中心に配置し、教室というスタイルで行ってきましたが、この施設においては、メインのキッチンは壁側に配置し、さらにIH調理器や床からのガスコンセントを採用することにより、ある程度自由なレイアウトを可能とした施設としています。これにより、教室という概念を払拭し、親子やサークル活動として気軽に部屋を利用できるようにし、さらには、館のイベント時における下ごしらえの場としても、自由にレイアウトが可能であることから、その汎用性を高めた施設としています。

その他、保護者会などの飲食（アルコールも可）も伴った会合などにも、ケータリングやもちろんその場での調理も可能ですので、より多くの方の活動・交流を期待しているものです。

食器や調理器具については、一般的な調理実習室にあるシンク下に収納するものではなく、これらのコンセプトから、食器棚や倉庫に収納し、そこからキッチンワゴンを利用して所定の場所までもってきて作業を行うこととしています。また、壁面にキッチンを配置することで、家庭でのキッチン配置に近づき、より一層の利用のし易さや様々なレイアウトを可能にしています。

館内におけるクッキングスタジオは、たきざわ広場、ふれあい広場、産業創造センターとの連携を踏まえ、館内の中心的位置に配置されています。ふれあい広場側は、ガラス面としており、民間施設にある料理教室のように明るく、楽しい活動が外からも感じられるようになっています。また、実施方法等によっては、クッキングスタジオ内だけで調理を

実演鑑賞するのではなく、ガラス面を利用して、来館者にも調理方法等を実演鑑賞するといったことも可能で、さらなる交流の場を広げる可能性をもったものとなっています。

一方、今回は、家具から食器や調理器具などについても合わせて提案してもらうことで、この部屋すべてを提案者のカラーで染めていただこうと考えています。調理器具等については、必要最低限のものとして別添「調理器具等リスト」で掲げるものを調達していきますが、開館後の利用形態も踏まえながら追加購入も考えていますので、ある程度汎用性のあるものを提案いただきながら、長く継続的な市民サービスを提供していければと考えていますし、より良きパートナーとして長くお付き合いしていきたいと考えています。

これらの想い、考えは、利用（貸館）があって十分に発揮される場所ですが、未利用時では、基本的に部屋の照明が消され「ただの暗い部屋」と化してしまいます。このクッキングスタジオにおいては、先に説明しましたように、館内の中心的位置に配置されている特徴を踏まえ、また、トータルプロデュースにより企業カラーも全面に押し出すことを可能とした、未利用時における空間の演出も提案していただきたいと思います。具体的な例としては、食器棚等の間接照明やスポットライト、その他アクセサリなどを活用した演出などにより、未利用時においても、ただの暗い部屋から来館者を迎える居心地の良い施設として、さらにそれが企業のイメージUPも図られ、互いに価値を高めるものとしていきたいと考えています。

#### 4 創作兼準備室の施設概要、コンセプト

創作兼準備室は、館内唯一、汚すことを前提にした部屋としています。床は土間仕様となっており、少々荒い利用や汚れものの作業も可能としています。そのため、市内各地で行われているハンギングバスケットの教室や家庭菜園といった土いじり関係の作業から、木工教室や日曜大工教室などといった工作室としての利用も想定しています。

また、屋外の大屋根の下に位置していることから、車を創作兼準備室に横付けして、色々な作業と連動した利用から、隣のクッキングスタジオとも連動した利用にも対応できるようになっています。

このように、単なる名称からイメージされる部屋の用途に限らず、色々な展開に満ちた部屋となっています。

#### 5 共通事項

今回、提案を募集するクッキングスタジオ、創作兼準備室は、一つのパッケージとして提案を募集するものです。これは、この空間について、単なる備品購入に留まるのではなく、企業カラーも一つの特徴、効果及び価値があるものとして、この空間をトータルプロデュースしていただくため、提案型による備品購入（プロポーザル）を実施するものです。そのため、通常は、施設パンフレットなどには備品のメーカー名などは記載しませんが、提案内容によっては、企業カラーも一つ価値として取扱い、施設パンフレットや利用案内の掲載などにより、互いに価値を高めていきたいと考えています。これらにより、双方で

広告 PR、利用者（お客様）の増、魅力度 UP などが図られ、さらなる相乗効果を生み出していきたいと考えています。

## 6 各部屋の想定備品配置及び備品条件リスト（別添参照）

想定される備品配置及び条件（備品条件リスト）は、別添のとおりですが、本基本方針や施設の特徴、提案課題を踏まえた備品提案を行ってください。

備品の選定にあたっては、配布資料（図面など）などを参照の上、的確なサイズを選定してください。（特にもレンジフード（換気扇）及び給排水の取り合い）